

ノムラの教え

弱者の戦略99の名言

勝負はまず敵を呑んでかかれ

南海時代、私は日本シリーズで巨人と5回戦った。1959年の最初の対決こそ、杉浦忠の伝説的な四連投四連勝で日本一になったが、その後は一度も勝てなかった。その理由は、われわれが抱いていた「巨人コンプレックス」も大きかったといまにして思う。つねにファンの注目を浴びている常勝・巨人の選手は、いつも自信に満ちあふれ、堂々とプレーしているように見えた。われわれは巨人のユニフォームに気圧され、戦う前から呑まれていたのである。

だから監督になってからは「まず敵を呑んでかかれ」と選手たちに言い続けた。そのためには優位感、優越感を持つことが重要になる。キャンプの時私は、滅多に使うことのない高度なフォーメーションプレーを練習させたが、これは選手たちに心理的優位性を与える狙いもあった。さまざまなデータを収集・分析し、活用したのも同様の目的があった。「自分たちはほかよりもはるかに進んだ野球をやっている」という意識が生まれれば、それが自信や誇りにつながるのである。

文・野村克也 text by Katsuya Nomura

Profile

1935年 京都府生まれ。
54年 京都府立峰山高校卒業。南海ホークス(現・福岡ソフトバンク)ヘテスト生で入団。
4年目に本塁打王。65年 戦後初の三冠王(史上2人目)など、MVP5度、首位打者1度、本塁打王9度、打点王7度。ベストナイン19回、ゴールデングラブ賞1回。
70年 監督(捕手兼任)に就任。73年 バリリーグ優勝。のちにロッテオリオンズ、西武ライオンズでプレー。
80年に45歳で現役引退。通算成績2901安打、657本塁打、1988打点、打率.277。
89年 野球殿堂入り。
90年 ヤクルトスワローズ監督に就任、4度優勝(日本一3度)。99年から3年間、阪神タイガース監督。
2002年から社会人野球・シダックスのゼネラル・マネージャー兼監督。
03年 都市対抗野球大会で準優勝。06年度 東北楽天ゴールデンイーグルス監督就任。
09年度 退任。24年間の監督生活で1565勝1563敗。「生涯一捕手」が座右の銘。

